

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

Teams「AI音読の練習」を活用して、一人ひとりのスピーキング練習を効率化

【中学校英語】 全学年

「リピート・アフター・ミー」は、英語学習におけるスピーキング練習の定番であるが、時間の制約もあり、授業で教師が生徒一人ひとりの発音を指導したり、評価したりすることは難しかった。

しかし、Microsoft「Teams for Education」の「AI音読の練習」機能を利用することで、授業の最初や最後に短時間で実施でき、宿題にもできる。生徒自身もAIがすぐに修正箇所や評価(正解率)を示してくれるので、個々の能力に応じて**効率的かつ継続的にスピーキング練習**をすることができるようになった。結果は、クラウドに保存されるため、教師は生徒一人ひとりの**習得状況や伸びを把握**しやすくなった。

発音の間違いや読み飛ばしなど、修正箇所がよく分かる。



55

1分毎の正解単語数

16 誤発音

0 繰り返す

2 省略

0 自己修正

4 挿入

正確性 表現

5

練習済み単語

Save the **Animals**
 Many kinds of **animals** are in **danger** of **extinction**. Today they are facing many challenges, such as **climate are change** and human **activities**. It is difficult for **endangered animals** to **survive** in **the these** conditions. It is difficult for **understand** this.
 The fastest **animals animal** needs the **fastest help**.
 Save us, or **there will** be trouble.

修正箇所をAIが瞬時に指摘

反復練習して、スコアが伸びると嬉しい。



100

1分毎の正解単語数

97%

正解率

AIによる自動評価

正確性 表現

5

練習済み単語

Save the Animals
 Many kinds of animals are in **danger** of extinction. Today they are facing many challenges, such as climate change and human activities. It is difficult for **endangered** animals to survive in these conditions. It is important for us to understand this.
 The fastest animal needs the fastest help!
 Save us, or there will be trouble.

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

【中学校保体】 全学年 GIGA端末のカメラ機能を活用した学び合い

- 【動画活用のメリット】
- ①GIGA端末で撮影した動画は、繰り返し見ることができる。
 - ②ゆっくり再生したり、止めたりできるため、コツを見つけやすい。
 - ③クラウドに保存された動画やアドバイスは、教師の授業改善や評価にも役立つ。

▼「マット運動」
倒立前転のコツをつかめ



撮影

▼「バレーボール」
スパイクのコツをつかめ



GIGA端末で動画撮影



自分で振り返る



話し合う



付箋にアドバイスを記入



指摘し合う

学び合い



手本を見る

○コツの共有—学び合い—

互いに映像を見て、良い点、修正点等を指摘し合う。その中でコツが見つかる。コツがつかめているか、自分や他者の演技を確かめる。



できたかも！

再挑戦



アドバイスをもとに再挑戦

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

「共有」と「振り返り」を授業の強みに その1「共有」

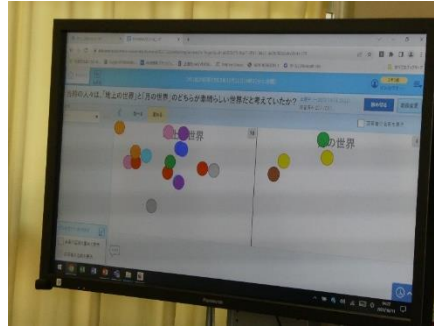
【中学校国語】 1年「竹取物語」 映画「かぐや姫」を視聴し、「月の世界」と「地上の世界」どちらが素晴らしいと考えていたか、根拠をもって意見を述べる学習。

①資料の共有



パワーポイントで各シーンを配布。班で交流のときに、根拠となる場面を示す際に使用。

②考えの共有



「どちらの世界が素晴らしいか」を、ポジショニングを利用して即時に共有した。

③振り返りの共有



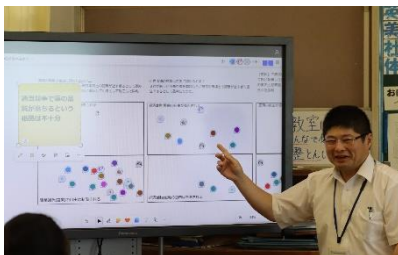
Formsで授業の振り返りを行い、その時間に何が学習できたか、どのような感想をもったかを即時に共有できる。

ICTとクラウドの「共有」機能により

- 【個別最適な学び】
 - ・自分の考えを**表明**する機会の保障
 - ・自分の考えを作る段階で他者を**参照**することができる
- 【協働的な学び】
 - ・他者の考えと自分の考えを**比較**し、よりよい考えを**創造**できる。
 - ・考えを**変更**できる。

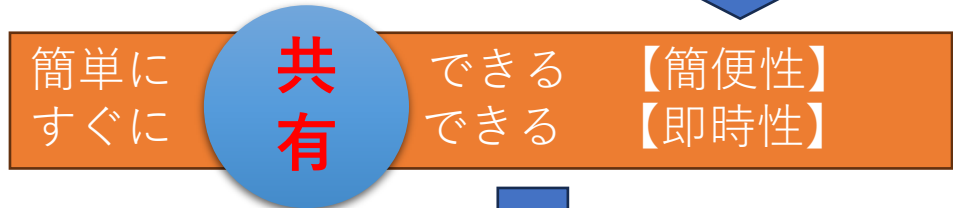
【全教科で共有を意識した授業】

【中学校社会】 3年公民「公共の福祉」 自由権と他の権利が対立する事例に対して、個人の考えから全体の考えへと議論を高めていく学習。



TeamsのWhite Boardを使用。個人の意見がドットで可視化される。また、ドットの吹き出しからは、根拠となる理由が示されるので、友だちの意見を参考にしやすい。

クラウドの強みを授業の強みに



ひとりもこぼさない全員参加の授業に

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校（香川県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

「共有」と「振り返り」を授業の強みに

その2 全教科で「振り返り」を実施

▼Teams内でExcelシート共有

出席番号	今日の学習課題は、達成できたか？	今日の自分の頑張りを評価してください。	今日の授業で学んだことを、自分の言葉でまとめてみましょう。どんなことを考えましたか？
11	達成できた	5	シジュウカラの特徴がよくわかった。
1	達成できた	5	説明文を序論、本論、結論に分けることができた。シジュウカラがかわいかった。
24	達成できた	4	序論、本論、結論を分けるのが難しくても言葉を見ながら分けていくと簡単だった。作者の気持ちもよく分かった。文章を読み取るのが苦手でも作者のクイズがあったから、読みたい気持ちが深くなったと思う
27	まあまあ、達成できた	4	シジュウカラはたくさんの鳴き声を出し、それぞれに意味があることが分かった。
5	まあまあ、達成できた	5	言葉があるのは人間くらいかと思っていただけ、シジュウカラも言葉をもっている可能性があるなんて鳥なのに凄いなと思いました。
28	まあまあ、達成できた	3	シジュウカラはさまざまな鳴き声がある。
23	達成できた	5	序論 本論 結論の見分け方がよく分かった
3	まあまあ、達成できた	3	なんで色が白と黒なのか謎に思った。

▼Formsアンケート

2. 今日の授業は楽しかったですか？ [Q]

☆☆☆☆☆

3. 今日の授業は理解できましたか？ [Q]

☆☆☆☆☆

4. 今日の自分の頑張りを評価してください [Q]

☆☆☆☆☆

5. 今日の授業で分かったことを記入してください。 [Q]

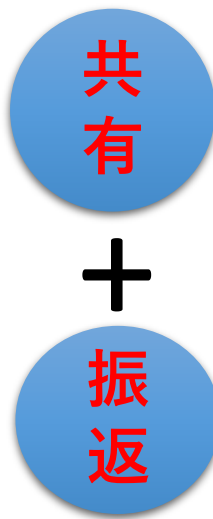
回答を入力してください

継続が大切

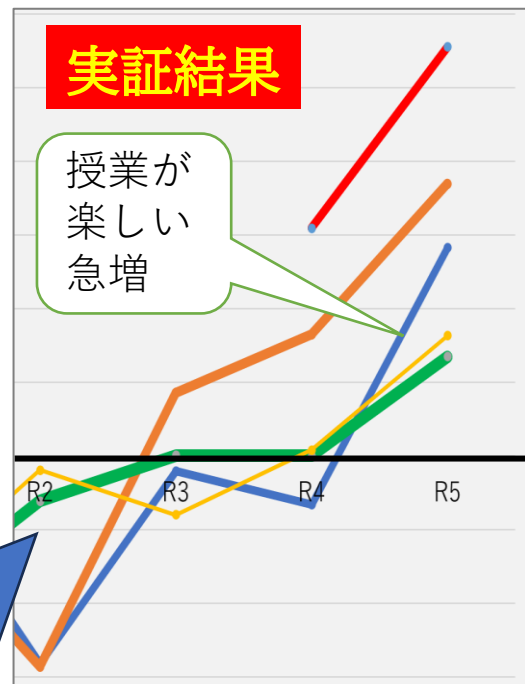
毎時間・授業の終末・全教員が取り組む

振り返り ～全員で続けることを目標に～
 ◎内容 主体性、心情面、内容面の質問
 ※各教科で2～4問程度、できるだけ簡便に
 ◎仕様 「エクセルシートの共有」又は「TeamsのFormsアンケート」各教科の特性に応じて
 ◎何時 毎時間、授業の週末(家でする生徒も)
 ※振り返り結果を蓄積、分析することで生徒の変容を見取り、授業改善につなげている。

【実証結果】ICTを活用して、「共有」場面と「振り返り」を取り入れた授業に取り組んだ結果



県質問紙調査 県平均との差



- ・授業が楽しい +28.3 (楽しくないは0)
- ・授業でのICT活用 +55.5 (肯定100)
- ・振り返り実施 +36.9

香川県質問紙調査・前年比

— 授業が楽しい — 振り返り
 — 発表機会 — ICT活用
 — 分かる

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校

【取組内容②】 アメリカ大学生とのオンライン交流学習

【中学校総合的な学習】 2年 高速ネットワーク環境を活用した海外との交流

日本文化に興味のあるアメリカの大学生が協力



ブレイクアウトルームでグループごとに分かれてお互いに自己紹介。そして、フリートーク



海外の大学生とウェブ会議ソフトでオンライン交流

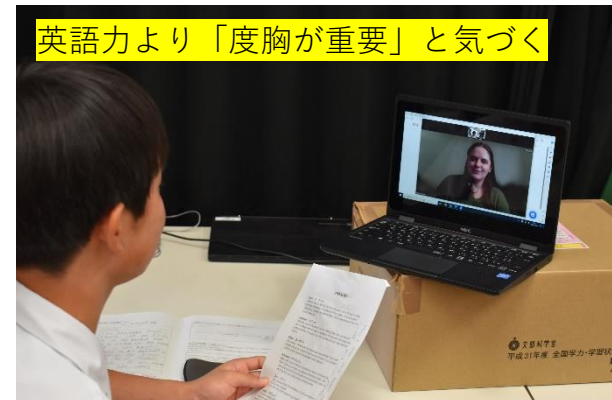
アメリカ・ロチェスター工科大学の大学生とオンラインでリアルタイムに交流。その目的は、以下の3点である。

- ①視野の拡大
- ②英語によるコミュニケーション能力の向上
- ③郷土香川や日本のこと、自分自身を分かりやすく伝えようと準備することを通して、情報活用能力の育成を図ること

高速ネットワーク環境により、オンライン交流が可能となった。

また、交流相手がネット環境に慣れた大学生であり、少々の時差にも対応してくれたことは、重要なポイントであった。

英語力より「度胸が重要」と気づく



【取組内容③】 教育情報を活用した不登校対策・自殺予防

Formsのアンケート機能を活用した「情動アンケート」による生徒支援

本校では、1学期から、Formsで作成した情動アンケート「今日のわたし」を心と体の健康観察として毎朝行っている。

▼「今日のわたし」の入力



①目的としては

(ア)生徒一人ひとりの心身の変化を把握し、状況に応じて、早期に、予防的に対処する。

(イ)生徒の自己管理能力の向上に役立てる。

※一番の目的は、生徒の心情面（喜び・悲しみ・不安・怒りなど）の変化をとらえること。ゲートキーパーの一つでもある。

②入力方法

毎朝、各自がGIGA端末で入力（夏休みも実施）した。

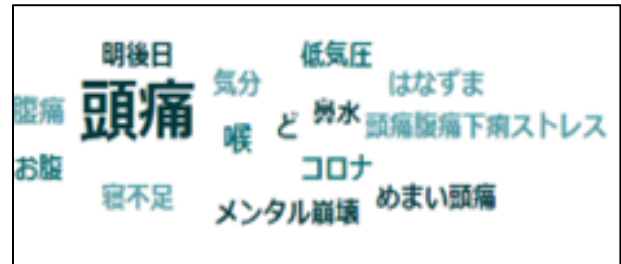
③質問内容

体調面（体調・体温）と心情面（気分・今日の一言）の質問で構成している。

④入力内容確認者

管理職・養護教諭は、必ず。担任は、随時。

▼テキストマイニング機能による分析



<これまでの実践から>

- ・毎日、不調を表明し、「メンタル崩壊」「ストレス」など、負のメンタルワードを記入する生徒に声かけをするなど、これまで見えなかった生徒の内面に、早めに、さりげなく対応できる。
- ・近親者喪失など、家庭環境が激変した生徒の継続的な見守りに活用。**特に、夏休み中は有効**であった。
- ・一言コメントを毎日記入する生徒もあり、先生とつながっている安心感も提供している。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校（香川県）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

職員室のDXで在校時間3割減 ～ペーパーレス・断捨離・大画面設置～

雑然



▲パソコンはどこ？
非効率な職員室

すっきり



▲ペーパーレス化は
断捨離を支援する

さらに

大画面の設置

・連絡事項や今日の指導の重点などの共通理解事
を表示する大型のメイン
ディスプレイを設置。



これにより

- ★【業務改善】
 - ・校務処理の効率化
 - ・情報伝達の円滑化
- ★【教員養成】
 - ・机上整理の習慣
 - ・ICT活用能力の向上

その結果

- ★【負担軽減】
 - ・時間外在校時間が
3割短縮された
(前年9月～11月比)

資料にリンクから
エクセルから

2月定例職員会議議題	
議題(2)(5)(5) (1)～(10)～	議題(1)準備
議題(1)	議題(2)
(1) 2月行事予定 (教務)	議題(3)
(2) 体罰防止	議題(4)
(3) 氏名簿	議題(5)
(4) 中書式利用の進捗	議題(6)
(5) 研修・教員研修	議題(7)
(6) 中書式利用の進捗	議題(8)
(7) 研修・教員研修	議題(9)
(8) 中書式利用の進捗	議題(10)
(9) 研修・教員研修	
(10) 中書式利用の進捗	
(11) 研修・教員研修	
(12) 研修・教員研修	
(13) 研修・教員研修	
(14) 研修・教員研修	
(15) 研修・教員研修	
(16) 研修・教員研修	
(17) 研修・教員研修	
(18) 研修・教員研修	
(19) 研修・教員研修	
(20) 研修・教員研修	
(21) 研修・教員研修	
(22) 研修・教員研修	
(23) 研修・教員研修	
(24) 研修・教員研修	
(25) 研修・教員研修	
(26) 研修・教員研修	
(27) 研修・教員研修	
(28) 研修・教員研修	
(29) 研修・教員研修	
(30) 研修・教員研修	
(31) 研修・教員研修	
(32) 研修・教員研修	
(33) 研修・教員研修	
(34) 研修・教員研修	
(35) 研修・教員研修	
(36) 研修・教員研修	
(37) 研修・教員研修	
(38) 研修・教員研修	
(39) 研修・教員研修	
(40) 研修・教員研修	
(41) 研修・教員研修	
(42) 研修・教員研修	
(43) 研修・教員研修	
(44) 研修・教員研修	
(45) 研修・教員研修	
(46) 研修・教員研修	
(47) 研修・教員研修	
(48) 研修・教員研修	
(49) 研修・教員研修	
(50) 研修・教員研修	

・職員会議の資料は
全てデジタル(PDF等)
・資料はクラウド上
で共有・閲覧
・エクセルに議題と
資料へのリンクがあ
る

職員会議のペーパーレス化と、 職員室の断捨離を同時に推進



・会議時間は全て**1時間以内**に終了
・机上の整理・断捨離が促進された

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校（香川県）

【取組内容⑤】 実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組

「公開」と「配信」による実践内容の普及～「一人の百歩より百人の一步」の精神で～

<普及に向けた挑戦！>

- 午後の研究授業と討議だけでなく、午前中の授業も**すべて公開**
- 終日、ネットで地域内外に**配信**

高松市総合教育センターとオンラインで結び、GIGA端末活用についてオンライン研修を実施。

4月19日（水）
オンライン研修



8月1日（火）
小中合同研修



講師を招いての小中合同研修会も市内小中学校へ配信。



6月14日（水）
第1回公開研究会



10月11日（水）
第2回公開研究会



研究日の午前中は、全員が授業を公開することとした。公開を続けることで、他者からの評価が得られるため、生徒も先生も学びが多く、自らの成長を実感できる。